作成日：２００３年０３月２８日
改訂日：２０２５年０５月１６日

# 安全データシート

## １．化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | ビッグブルー |
| 製品コード | RT106(0.3L)、RT100S(0.95L)、RT100G(3.8L) |
| 会社名 | アサダ株式会社 |
| 住所 | 愛知県名古屋市北区上飯田西町3-60 |
| 担当部門 | 営業本部 |
| 電話番号 | 052-911-7165 |
| FAX番号 | 052-914-2062 |
| メールアドレス | sales@asada.co.jp |
| 緊急連絡電話番号 | 052-911-7165（月曜日から金曜日の8:30～17:00） |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 各種ガスの漏れ検査 |

## ２．危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|---|---|---|
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) | 区分4 |
| | 急性毒性(吸入) | 区分4 |
| | 皮膚腐食性／刺激性区分 | 区分1B |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分1 |
| | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分3 |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | 区分1 |
| | 水生環境有害性 長期(長期間) | 区分1 |

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

| | |
|---|---|
| 注意喚起語 | 警告 |
| 危険有害性情報 | 飲み込むと有害<br>吸入すると有害（気体，蒸気，粉じん及びミスト）<br>皮膚刺激<br>重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷<br>強い眼刺激<br>眠気又はめまいのおそれ<br>水生生物に非常に強い毒性<br>長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 |

注意書き

安全対策　粉じん、煙、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
環境への放出を避けること
取扱い後は手や顔をよく洗うこと
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
保護手袋、保護衣、保護面を着用すること

応急措置　飲み込んだ場合：気分が悪いきは医師に連絡すること
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること

皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
直ちに医師に連絡すること

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
直ちに医師に連絡すること
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること
漏出物を回収すること

保管　施錠して保管すること。
容器をしっかり閉め、よく換気された場所で保管

廃棄　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理
業者に委託すること

GHS分類に該当しない他の危険有害性　粉末または顆粒状で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある

## ３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分　混合物

| 化学名 | CAS No. | 化学式 | 官報公示整理番号 | 濃度 % |
|---|---|---|---|---|
| スルホン化ケラチン | 69430-36-0 | - | - | 企業秘密なので記載できない |
| ヘキサデシルアミン | 143-27-1 | - | (2)-133, (2)-176, (2)-185 | |
| テトラデシルジメチルアミンオキシド | 3332-27-2 | C16H35NO | (2)-198 | |
| N,N-ｼﾞﾒﾁﾙﾄﾞﾃﾞｼﾙｱﾐﾝ=N-ｵｷｼﾄﾞ | 1643-20-5 | C14H31NO | (2)-198 | |
| 1,2,3-ベンゾトリアゾール | 95-14-7 | C6H5N3 | (5)-537 | |
| クエン酸三ナトリウム | 6132-04-3 | - | (2)-1323、(2)-1323 | |
| サポニン | 8047-15-2 | - | - | |
| メチルセルロース | 9004-67-5 | - | (8)-186 | |
| HEC (ﾋﾄﾞﾛｷｼｴﾁﾙｾﾙﾛｰｽ) | 9004-62-0 | - | (8)-194 | |
| p-ヒドロキシ安息香酸メチル | 99-76-3 | HOC6H4COOCH3 | (3)-1585 | |
| p-ヒドロキシ安息香酸プロピル | 94-13-3 | HOC6H4COOCH2CH2CH3 | (3)-1585 | |
| アシッド　ブルー－９ | 2650-18-2 | C37H42N4O9S3 | (5)-1632 | |
| 水 | 7732-18-5 | H2O | - | 残り |

## ４．応急処置

| | |
|---|---|
| 吸入した場合 | 空気の新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること<br>直ちに医師に連絡すること<br>気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること |
| 皮膚に付着した場合 | 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を石鹸や水で洗い、ぬるま湯ですすぐこと<br>皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診察/手当てを受けること<br>直ちに医師に連絡すること<br>汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること |
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと、その後も洗浄を続けること<br>直ちに医師に連絡すること |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと<br>直ちに医師に連絡すること |
| 急性症状及び遅発性症状 | 通常の使用条件下では、重大な危険をもたらすとは考えられない |
| 応急措置をする者の保護 | 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する |
| 医師に対する特別な注意事項 | 情報なし |

## ５．火災時の措置

| | |
|---|---|
| 適切な消化剤 | 泡、水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤、砂 |
| 使ってはならない消化剤 | 棒状放水 |
| 火災時の特定の危険有害性 | 燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する |
| 特有の消火方法 | 水噴霧を用いて容器を冷却する。消火用水が周囲に漏れないようにする<br>消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる<br>関係者以外は安全な場所に退去させる<br>周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す |
| 消火を行う者の特別な保護 | 適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する |

## ６．漏出時の措置

| | |
|---|---|
| 人体に対する注意事項、 | 作業者は適切な保護具（『８．ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける<br>密閉された場所に立ち入る前に換気すること<br>近傍での喫煙、火花や火炎の禁止<br>漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない<br>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する |
| 保護具及び緊急時措置 | 適切な空気呼吸器、防護服を着用すること<br>関係者以外の立ち入りを禁止すること<br>漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる |

| | |
|---|---|
| 環境に対する注意事項 | 下水道や公共水域への侵入を防ぐ。液体が下水道または公共水に入った場合は、関係局に連絡する<br>製品が排水路に排出されないよう注意する |
| 封じ込め及び浄化の方法･機材 | 乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する |
| 二次災害の防止策 | 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ<br>すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止） |

## ７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|---|---|
| 技術的対策 | 適切な保護具を着用して作業する<br>強酸化剤との接触を避ける<br>取扱いは換気のよい場所で行う<br>漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない<br>熱、火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙<br>静電気対策を行う<br>設備などは防爆型を用いる<br>衝撃、摩擦を避けること |
| 安全取扱い注意事項 | この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと<br>取扱い後はよく手を洗いうがいをすること<br>蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる<br>眼、皮膚、衣服との接触を避けること<br>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと<br>飲み込まないこと<br>環境への放出を避けること |

保管

| | |
|---|---|
| 安全な保管条件 | 直射日光を避け、換気の良い場所に保管する<br>容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。 |
| 混触禁止物質 | 強酸化剤などの混触危険物質から離して保管する |

## ８．ばく露防止および保護措置

| | |
|---|---|
| 許容濃度 | 情報なし |
| 設備対策 | 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする<br>取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける |

保護具

| | |
|---|---|
| 呼吸気用保護具 | 換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること |
| 手の保護具 | 適切な保護手袋を着用する |
| 眼、顔面の保護具 | 眼、顔面用の保護具を着用すること |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣、安全靴などの保護具を着用すること |

## ９．物理的および化学的性質

| | |
|---|---|
| 物理的状態 | 液体 |
| 色 | 青色 |
| 臭い | 特異臭 |
| 凝固点 | 0℃以下 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | 100℃以上 |
| 可燃性 | なし |
| 爆発下限界および爆発上限界 | データなし |
| 可燃限界 | データなし |
| 引火点 | なし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | ７～８ |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | 水に可溶性 |
| n-オクタノール／水分配係数 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 相対密度 | 1.04 g/mL以上 |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

## １０．安定性および反応性

| | |
|---|---|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的反応性 | 情報なし |
| 危険有害反応可能性 | 強酸化剤と反応し、発熱、発火する可能性がある |
| 避けるべき条件 | 直射日光、極端な高温または低温 |
| 混合接触危険物質 | 強酸化剤、強塩基剤 |
| 危険有害な分解生成物 | ヒューム、一酸化炭素、二酸化炭素 |

## １１．有害性情報

| | | |
|---|---|---|
| 急性毒性 | 急性毒性(経口) | 区分4 |
| | 急性毒性(吸入) | 区分4 |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 区分1B | |
| 眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 | 区分1 | |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 分類できない | |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない | |
| 発がん性 | 分類できない | |
| 生殖毒性 | 分類できない | |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露） | 区分3 | |
| 特定標的臓器毒性（反復暴露） | 分類できない | |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない | |
| 誤えん有害性 | 分類できない | |

## １２．環境影響情報

| | |
|---|---|
| 生態毒性 | 水生環境有害性 短期(急性)　区分1 |
| | 水生環境有害性 長期(長期間)　区分1 |
| 残留性・分解性 | 土壌中で生分解性、水中はデータなし |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壌中の移動性 | 動植物に無毒 |
| オゾン層への 有害性 | 影響なし |

## １３．廃棄上の注意

| | |
|---|---|
| 残余廃棄物 | 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って安全な方法で廃棄すること<br>環境への放出を避ける |
| 汚染容器及び包装 | 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること<br>空容器は地域の条例に準拠してリサイクル、再利用または廃棄する |

## １４．輸送上の注意

| | |
|---|---|
| 国際規制 | |
| 海上輸送 | 該当しない |
| 航空輸送 | 該当しない |
| 国内規制 | |
| 陸上輸送 | 該当しない |
| 海上輸送 | 該当しない |
| 海上輸送 | 該当しない |
| 特別安全対策 | 食品や飼料と一緒に輸送してはならない<br>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのない<br>ように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う<br>重量物を上積みしない |
| 緊急時応急措置指針番号 | 153 |

## １５．適用法令

国内

| | |
|---|---|
| 化管法(PRTR法) | 第1種指定化学物質 |
| | 第2種指定化学物質 |
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |
| 化審法 | 優先評価化学物質 |
| 消防法 | 非該当 |
| 船舶安全法 | 危規則危険物告示 別表第1 腐食性物質 |
| 航空法 | その他の有害物質(施行規則第194 条危険物告示別表第1 ) |
| 貿易管理令 | 非該当 |

## １６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。注意事項は通常の取扱いを対象とし、また記載内容は情報提供であって保証するものではありません。危険・有害性の評価を絶対視することなく、取扱いには十分注意してください。

参考文献

NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)
職場のあんぜんサイト